

日本最大級のドロップ SHIPPING サービス『もしもドロップ SHIPPING』、 販売・決済システムのスマートフォン対応を開始 ユーザビリティ向上による、新規顧客獲得および売上アップを目指す

日本最大級のドロップ SHIPPING サービスを展開する株式会社もしも（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：実藤裕史、以下もしも社）はこの度、『もしもドロップ SHIPPING』の販売システムおよび決済システム「m-Payment（エムペイメント）」について、スマートフォン対応を開始いたします。

■『もしもドロップ SHIPPING』とは

誰でも簡単に無料でインターネットネットショップを持つことができるサービスです。ショップオーナーは、在庫を持つ必要がなく、自身のブログやホームページ、メールマガジンに商品情報を掲載して注文を取ります。その後、商品はメーカーや卸から購入者へ直送されます。そのため、在庫リスクがなく、さらにはショップを持つ際に面倒な決済や配送、カスタマサポートなどのバックグラウンドにおいても、もしも社がすべて行います。

1、スマートフォン対応概要

<購入者側>

■ストレスなく、商品ページを閲覧可能

フィーチャーフォンでは非対応だった機能もスマートフォンでは対応。PC と同等の各種機能を、インターフェースを最適化して実装したことにより、商品ページをストレスなく閲覧できます。

■決済画面もスムーズに入力できる

フォーム入力画面においても、ストレスなく閲覧できるよう工夫いたしました。また、リピート顧客の基本情報やクレジットカード情報などを再入力する手間を省いたため、スムーズにお買い物を楽しめます。

<ショップオーナー側>

■カートを自分でカスタマイズ可能

ショップオーナーは、自分のネットショップのカートカラーを自分で変更することができます。カラーは、赤・ピンク・オレンジ・緑・青・紫・グレー・茶の全8色。



2、スマートフォン対応開始の背景と目的

『もしもドロップ SHIPPING』を利用しているネットショップへの、スマートフォン経由のアクセスは 2011 年上半期、微増ではありますが伸張が見受けられました。スマートフォン経由のアクセスは今後も増加が予想でき、また、スマートフォンユーザーへのユーザビリティを向上させることで、新規顧客獲得および各ショップの売上増加につなげることができると考え、今回の販売システム及び決済システムのスマートフォン対応開始にいたしました。

3、今後の展開

もしも社では、スマートフォンユーザーへのユーザビリティをさらに向上させ、2011 年 9 月度におけるスマートフォン経由の CVR を 2011 年 5 月度比で 25% 増を目指します。

＜株式会社もしもの会社概要＞

もしも社は、2006年8月17日に『もしもドロップ SHIPPING』サービスを開始。開始以来、ショップオーナー（会員）数は増え続けており、現在では約36万人（6月19日現在）にまで上っております。もしも社では、サービスを提供するだけでなく、ショップオーナーの育成に努め、ドロップ SHIPPING 市場の更なる拡大に努めてまいります。

- （１）社 名：株式会社もしも
- （２）代 表 者 名：代表取締役社長 実藤 裕史
- （３）本 社 所 在 地：東京都渋谷区道玄坂一丁目19番2号
- （４）設 立：2006年6月
- （５）資 本 金：5億2,550万円（資本準備金含む）

以上